

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日

平成 28 年 3 月 15 日

主管学校名

愛知教育大学附属特別支援学校

PTA会長名

北原 あすか

| | | |
|------|---------------------------|---|
| 実施概要 | 主管校 | 愛知教育大学附属特別支援学校 |
| | 交流校 | |
| | 実施活動名 | 進路に関する学習会 |
| | 実施日時 | 平成 28 年 1 月 12 日 (火) |
| | 実施場所 | 本校くすのきホーム |
| | 実施目的 | 本校児童・生徒の保護者が、進路にかかわる講話を聞き、児童・生徒の進路決定の参考にする。 |
| | 実施内容 | 特定非営利活動法人 のりのりフットワーク就労継続支援B型事業所 カフェ&ベーカリーふるふるのサービス管理責任者 山上晶子様を講師にお招きして、事業所立ち上げから現在までのご苦労ややりがいについての話をしていただく。 |
| | 実施方法 | 保護者にアンケートを行って講師の選定・決定をし、講演会を行う。 |
| 参加人数 | 本校児童・生徒の保護者 47 名, 教職員 2 名 | |

| | | |
|------|----|---|
| 報告事項 | 内容 | <p>進路に関する学習会 本校くすのきホームにて、保護者を対象に講話をしていただいた。</p> <p>会の流れ</p> <p>はじめの言葉 : 木下書記 父母教師会会長あいさつ : 北原会長 講師紹介 : 山本副会長 講話 : 山上晶子様 お礼の言葉 : 北原会長 おわりの言葉 : 木下書記</p> |
| | 結果 | <p>「カフェ&ベーカリーふるふるを通じて私が見てきたもの」-働き続けるために必要な地域支援とは-という題で講話をいただいた。カフェ&ベーカリーができるまでから事業化するまでの道のりを、苦労話を交えて話していただいた。そして最後に、入所して見える方の紹介を生き生きと紹介していただいた。話を通して、就労移行支援事業の役割を、丁寧に体験話を交えて話していただけた。</p> |
| | 所感 | <p>多くの参加された保護者の方から、我が子の進路を決める上でとても参考になったという声をいただいた。「事業所の立ち上げから携わる人の話を聞ける機会はめったにないから。」と、会終了後も熱心に話を伺っていた保護者の方もおり、大盛況のうちに会が終了した。事業所が高浜市にあり、気軽に見学に行ける場所でなかったのが残念だという声も聞かれたが、「一度行ってみたい。」とおっしゃられた保護者の言葉が印象的だった。</p> |

添付書類

保護者の感想, 写真, 収支報告書, 進路に関する学習会の運営要綱, 保護者への案内文書, 講師への案内文書

就労支援事業(進路に関する学習会)



カンガルーシップ活動
就労支援プロジェクト
参加感想

| | |
|-----|----------------|
| 提出日 | 平成28年3月15日(火) |
| 学校名 | 愛知教育大学附属特別支援学校 |

進路に関する学習会に参加し、サービス管理責任者の方に経営や労働環境、障がい児をもつ保護者ではない視点など、いろいろお話を伺うことができました。責任者に就任することを『覚悟』と表現されていましたが、その言葉の重み・重要さが伝わってきました。パワーポイントやスライド、事業所の1日の様子やスタッフの方々の写真やお話など、とても分かりやすく、勉強になりました。親として子供にできることは何かと、考える機会になりました。ありがとうございました。